

## 別紙様式 1

### 令和 5 年度安浦中学校区研究推進計画

校番 ( 3 2 ) 呉市立安浦小学校

校長名 奥 本 雅 幸

#### 1 学校教育目標

ふるさとを愛し、よりよい未来の創り手となる児童生徒の育成

#### 2 目指す児童生徒像

- 自校や郷土に誇りと愛着をもち、地域社会に感謝・貢献する児童生徒
- 様々な人々と協働して、主体的に課題解決に取り組む児童生徒

#### 3 育成を目指す資質・能力 ( 具体の姿 )

資質・能力 設定した	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等	
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	感謝・貢献
後期	各教科等に関する個別の知識や技能などを確実に身に付けている。	目的に応じて、多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに、論理のすすめ方や表現の仕方などを工夫して、効果的に表現することができる。	課題解決のために、対象に対して自ら働きかけ、進んで挑戦することができる。	地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、郷土の発展に貢献することができる。
中期		目的に応じて、複数の事柄や資料などを関連付け、整理したり再構成したりして、適切に表現することができる。	課題解決のための過程において、対象に対して積極的に働きかけ、進んで挑戦することができる。	郷土の伝統や文化を大切に、地域社会の一員として貢献を意識して活動に参画することができる。
前期		目的をもって、複数の事柄や資料などについて自分で視点を持ち、比較分類、関連付けてまとめて表現することができる。	目的を明確にして、課題の解決に向けて、見通しをもって計画的に挑戦することができる。	地域のよさを理解し、感謝する心をもって地域と関わる活動に参加することができる。

#### 4 研究主題等

##### (1) 研究主題

主体的・対話的に深く学びながら、思考力・判断力・表現力を高める児童生徒の育成  
～「逆向き設計シート」の活用と思考を深める学び合いを通して～

##### (2) 設定理由 ( 校区の児童生徒の課題分析等 )

本中学校区では、「逆向き設計」論を取り入れ、パフォーマンス課題を位置付けた単元づくりに取り組んできた。平成 28 年度に安浦中学校で開発・研究した内容を、平成 29 年度から本中学校区内の全校にも広げ、小中全教職員で共通の研究テーマに 6 年間取り組んできた。そのことにより、小中一貫した系統的な指導の在り方や、ゴールから逆算した単元づくりについて理解を深めるとともに、研究の方向性をそろえて授業実践を行うことができた。そして昨年度は、その研究の成果を全国サミットで報告することができた。

「授業改善部会」の成果としては、本質的な問いと単元を貫く問いを逆向き設計シートにも位置付けて単元づくりを行い、単元を通して児童生徒と教員が単元で付けたい力を共有することができた。また、授業参観シートを三校の研究授業において活用したことで、授業改善の視点を共通のものとすることができた。

『心と体』育成部会』の成果としては、教育活動の様々な場面で逆向き設計シートを作成し、児童生徒に課題意識をもたせ、主体的に活動に取り組みせることができた。さらに、小中

合同あいさつ運動やみちクリーン活動等で、児童生徒の交流を実施することを通して、児童生徒の自尊感情の高まりや小学生の意識の高まりが見られた。

令和4年度の全国学力・学習状況調査及び標準学力調査（小学校）、新学社の学力向上 TSP（中学校）による校内と全国との比較は、次のとおりである。

#### 小学校

国 語	知識・技能	思考・判断・表現
A小5年生時（標準学力調査）	- 2. 5	- 3. 6
A小6年生時（全国学力調査）	+ 8. 2	- 3. 5
A小6年生時（標準学力調査）	+ 5. 4	- 0. 1
B小5年生時（標準学力調査）	- 7. 6	- 9. 5
B小6年生時（全国学力調査）	- 2. 6	- 1. 9
B小6年生時（標準学力調査）	- 5. 0	- 5. 5

算 数	知識・技能	思考・判断・表現
A小5年生時（標準学力調査）	+ 7. 1	+ 4. 6
A小6年生時（全国学力調査）	- 1. 5	- 0. 1
A小6年生時（標準学力調査）	+ 0. 2	+ 2. 4
B小5年生時（標準学力調査）	+ 0. 1	- 4. 4
B小6年生時（全国学力調査）	- 8. 4	- 6. 4
B小6年生時（標準学力調査）	+ 1. 0	- 5. 0

#### 中学校

国 語	知識・技能	思考・判断・表現
8年生時（学力向上TSP）	- 13. 0	- 5. 5
9年生時（全国学力調査）	- 2. 7	- 2. 4
数 学	知識・技能	思考・判断・表現
8年生時（学力向上TSP）	- 10. 7	- 5. 5
9年生時（全国学力調査）	- 9. 9	- 3. 9

調査が違うため、単純には比較できないが、小学校、中学校の各教科において、全国との差があり、基礎学力の定着が必要であると考え。そのため、AIドリル（Qubena）等を活用して基礎学力の定着を図る。本中学校区で実践している「逆向き設計」は、「思考・判断・表現」を向上させる上で有効であると考えられるため、研究を発展充実させ、継続する。基礎学力の定着を目指すと共に、「逆向き設計」の考え方を生かしながら、児童生徒が主体的・対話的に深く学ぶことができる学習過程はどうあるべきか、特に子どもの問いを生かした単元構成の工夫、思考を深める学び合いの場の工夫について研究を深めていきたい。

#### (3) 研究仮説

「逆向き設計シート」を活用し、パフォーマンス課題や本質的な問い、単元を貫く問いを位置付けた活動を行うとともに、根拠を基にし、筋道立てた自らの考えを広げ深める「学び合い」を位置付けることにより、児童生徒の主体的・対話的で深い学びを促し、思考力・判断力・表現力を高めることができるであろう。

## 5 研究内容

### (1) 逆向き設計シートの活用【授業改善部会】【「心と体」育成部会】

- ア 目指す姿(ゴール)の明確化
- イ 質の高いパフォーマンス課題の設定
- ウ 指導に生かすルーブリックの設定
- エ 子供の問いを生かした単元構成の工夫 (小中合同行事等, 授業以外の場においても「逆向き設計」による計画・実践を試行)

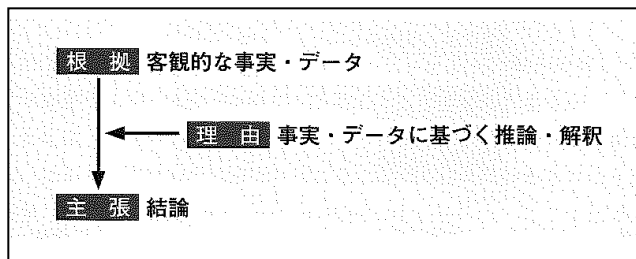
### (2) 思考を深める学び合い【授業改善部会】

- ア 目的に応じた学習形態 (ペア学習やグループ学習) を工夫する。
- イ 授業の中に, 本中学校区における「学び合い」の思考過程を位置付ける。

安浦中学校区における「学び合い」(全教科共通の「思考過程」)

- ① 理由や根拠に基づいた個の考えをもつ。
- ② 自分の考えと友達のを比較・分類・関連付けながら思考する。
- ③ ペア学習やグループ学習において, ①②で練った考えを広げたり深めたりする。
- ④ 個で考えを再構成する。

- ウ 根拠を基に理由付け, 筋道立てた表現をさせる。



三角ロジック (根拠・理由・主張の三点セット)

- エ 思考の型で考えさせる。

- ・板書で示したりノートに書かせたりして意識させる。
- ・本時の課題を提示する際に, 課題を解決するために有効な思考の型を児童生徒に選択させる。
- ・自ら思考の型を使えるようにする。

- オ 教科等の本質に迫る発問を工夫する。

例・○○と△△の共通点・相違点はありますか。

- ・○○と△△をまとめると, どうなりますか。
- ・○○と△△には, どんな関係がありますか。
- ・つまり, どんないえますか。

- カ タブレットを効果的に活用する。

(3) 主体的・対話的に深く学ぶ基盤づくり【「心と体」育成部会】

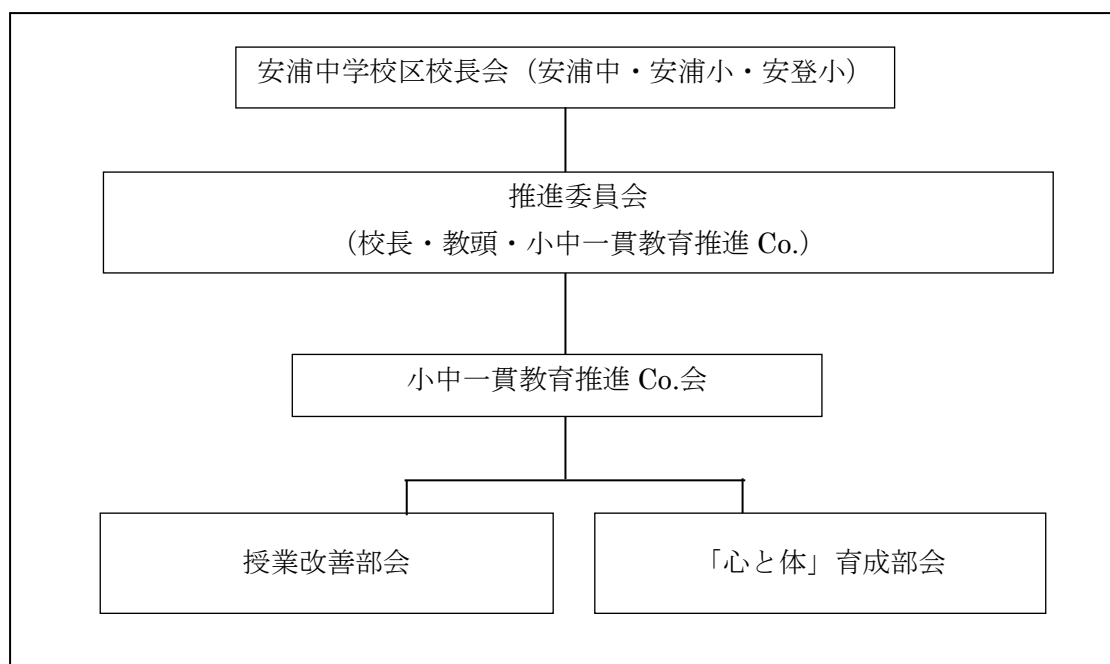
- ア 「学びのすすめ」「パワーアップカード」による生活づくり
- イ 新体力テストを生かした運動の日常化
- ウ 「体いきいきカード」による健康づくり
- エ 「感謝・貢献」の資質・能力を育む学校行事・地域貢献活動及び生徒会・児童会活動

6 検証について

検証の視点	方法	検証の指標	現状値	達成目標
① 逆向き設計シートの活用により、目指す資質・能力は身に付いたか。	ルーブリック	ルーブリックの尺度2以上(3段階評価)	80%	85%
② 学び合いにより思考は深まったか。	児童生徒アンケート(3~9年生)	あてはまると回答した児童生徒の割合(4段階評価中4)	48%	50%
	教職員アンケート	教職員の肯定的回答(4段階評価)	-	80%
③ 思考力・判断力・表現力は高まったか。	思考・判断・表現をみとる学期末テスト(全学年)	児童生徒の得点70点以上の割合	59%	70%
	標準学力調査(全学年)	全国平均との差	-6	±0

7 推進体制等

(1) 推進組織



(2) 一部教科担任制実施計画

ア 乗り入れ授業等 (中→小)

- ・食に関する指導 (各学年 年1回程度)
- ・中学校生活に向けての指導 (第6学年 3学期)
- ・単元を決めた乗り入れ授業 (第6学年 年1回程度)

イ 小学校教科担任制等

- ・安浦小 第3~6学年 (理科) 第6学年 (書写)
- ・安登小 第3~6学年 (理科) 第3・5学年 (音楽) 第6学年 (体育)

## 8 推進計画

月 日	内 容		
	安浦中	安登小	安浦小
4月 5日	校内研修①		
4月 7日	第1回推進委員会（推進計画・研修計画検討合同研修会の持ち方）		
4月26日	校内研修②		
4月27日	第1回合同研修会（推進計画・研修計画確認）		
5月25日	校内研修③		
5月29日			校内研修①
6月 5日	小中一貫教育コーディネーター会①		
6月16日	第2回推進委員会（第2回合同研修会の持ち方）		
6月20日		校内研究授業①	
6月28日		校内研究授業②	
6月30日	第2回合同研修会（安浦小学校授業研究）		
7月11日	校内研究授業①		
8月 8日	小中一貫教育コーディネーター会②		
8月22日	第3回推進委員会（第3回合同研修会の持ち方）		
8月28日	第3回合同研修会（全国学力調査分析等）		
9月 8日	小中一貫教育コーディネーター会③		
9月12日			校内研究授業②
9月15日	第4回推進委員会（第4回合同研修会の持ち方）		
9月20日	校内研究授業②	校内研究授業③	校内研究授業③
9月22日	校内研究授業③		
9月25日			校内研究授業④
9月27日	校内研究授業④	校内研究授業④	
10月 3日			校内研究授業⑤⑥
10月 5日		校内研究授業⑤	
10月12日			校内研究授業⑦
10月16日			校内研究授業⑧
10月20日	校内研究授業⑤		
10月24日		校内研究授業⑥	校内研究授業⑨
10月25日	第4回合同研修会（安浦中学校授業研究）		
10月27日	校内研究授業⑥		
10月31日	校内研究授業⑦		校内研究授業⑩
11月 2日	校内研究授業⑧		
11月 7日	校内研究授業⑨		
11月 8日	校内研究授業⑩		
11月10日		校内研究授業⑦	
11月16日	校内研修④		
11月22日			校内研究授業⑪
11月27日		校内研究授業⑧	
11月28日			校内研究授業⑫
12月12日	校内研究授業⑪		
2月 1日	小中一貫教育コーディネーター会④		
2月 9日	第5回推進委員会（第5回合同研修会の持ち方）		
2月15日	校内研修⑤		

2月13日	第5回合同研修会（研究のまとめ 活動・部会報告 次年度に向けて）
3月12日	小中一貫教育コーディネーター会⑤
3月19日	第6回推進委員会（次年度の推進の方向性）

9 その他

- ・年2回の児童会・生徒会によるあいさつ運動 9月28日 1月18日
- ・年2回の児童会・生徒会交流会
- ・10月 小中合同行事（地域みちクリーン活動）
- ・3月 小中一貫教育だよりの発行